



学校だより

めざす学校像<安心して過ごせる学校>『毎日が楽しく、明日が待たれる学校』

鈴鹿市立加佐登小学校
電話 059-378-0063
FAX 共用 059-378-0006
https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/

加小っ子 だより

令和8年4月16日 No.2

4月9日(木) 入学式が行われました

桜咲く中、6年生も参列して入学式が行われました。新1年生28人が入学し、緊張した様子も見られましたが、小学生になった新1年生には以下のような話をしました。

- ① ^{じぶん}自分からあいさつをするようにしましょう
- ② ^{とも}友だちをつくり、大切にしていきましょう
- ③ ^{べんきょう}勉強をがんばりましょう



この3つのことをやってみると、毎日学校に来るのが楽しくなってきます。

入学から6年間お預かりする責任を、本校教職員一同、重く受け止めつつ、一人ひとりの個性を尊重した上で、教職員が一丸となり、成長の糧^{かて}となるよう力を注いでいきます。



4月10日(金) 雨の中の全学年登校・給食スタート

全学年揃った最初の登校日、あいにくの雨でしたが、傘をさしながら安全に気をつけて登校していました。

この日、給食がスタートしました。本校は自校給食で、給食調理員2名で調理されています。栄養教諭も配置しており、今後、食育指導を行います。食べる食材や調理を知ることで、食物への関心が高まり、大切に扱う心が育ち、美味しく頂くことにつながります。



全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェックを実施します

4月23日(木)、「全国学力・学習状況調査(国語・算数)」が6年生を対象に全国の小学校で実施されます。また、本校では4月27日(月)に児童質問紙への回答がオンラインで行われます。学力・学習状況調査は、例年、この時期に実施され、7月から8月の間に結果が公表されます。さらに、5月1日(金)には、4年生と5年生を対象に「みえスタディ・チェック」(4年生は国語・算数、5年生は国語・算数・理科)を実施します。これらの調査で分かる学力は、子どもの学力の一側面ではありますが、現在の学力や学習状況の強みや弱みを把握・分析し、今後の教育指導の充実や授業改善等に役立てていきます。

各結果は子どもたちにも返却します。結果を返却する際はあらためてお知らせしますので、その際は、お子様自身も自らの学力や学習状況を把握し、家庭学習の方法などの改善に活かしていけるよう、ご家庭でも一緒にご覧いただき、お声がけいただければ幸いです。

非認知能力について

今年度も鈴鹿市は子どもたちの非認知能力を育む取組を進めており、その内容を紹介します。

「非認知能力」とは、偏差値やIQ等、数値で表せる「認知能力」ではなく、テスト等で測れない、目に見えにくい力のことを指します。

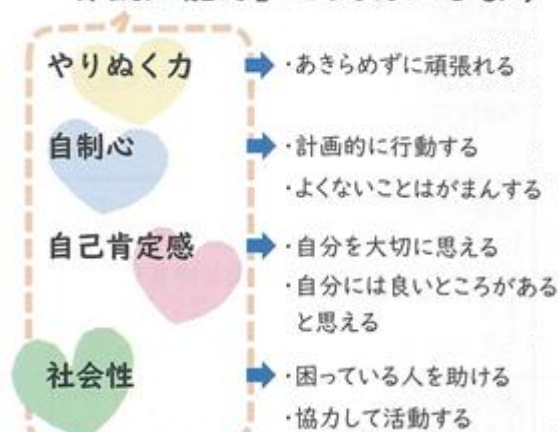
非認知能力は“新しい特別な力”ではなく、コミュニケーション力、思いやり、意欲、創造性、好奇心、忍耐力、自己肯定感、自制心など人の心や社会性に関係する力です。

なぜ、非認知能力を育もうとしているのかというと、非認知能力の高い子どもたちは学力面で高い成績をおさめ、将来経済的に成功する確率が高く、反社会的な問題行動を起こす確率が低く、将来的にも豊かに過ごせると国際的な研究で明らかになったことが挙げられます。

さらに、教育によって非認知能力を身に付けさせることができるということもわかっています。自分を動機づけて高めようとしたり、自分の感情をコントロールしたりしながら、自分と他者を大切にできる非認知能力の育成が変化の激しい社会のなかで求められています。

非認知能力は日常生活のあらゆる場面で育まれます。ぜひご家庭でも、絵本の読み聞かせを行ったり、結果だけでなく、結果に至る頑張る姿も含めて褒めてあげたりして、非認知能力が育まれるように、ぜひご協力をお願いします。

主に
鈴鹿市では 4つの
「非認知能力」を大切にします



4つの力は将来次のようなことにつながります

- ・「やりぬく力」は目標に向かってあきらめずに頑張ることができる力でテスト勉強や部活動、人生の目標を達成するときに役立ちます。
- ・「自制心」は計画的に勉強したり、人間関係をきずいたりするときに役立ちます。
- ・「自己肯定感」は自分に自信をもてたり、積極的に行動したりする力につながります。
- ・「社会性」があると、誰かと一緒に勉強したり、クラスで協力して行事に取り組んだりするときに役立ちます。